対面リーディング通信

2014年8月1日 発行　　第１５６号（隔月刊）

2014年
8 月

基礎講習会のお知らせ

今年度の第1回目の基礎講習会を、以下のとおり開催します。
これから活動を始めたいと思っている方はもちろん、すでに活動中で、活動のなかでお困りのことがある方、「対面の基本」をもう一度確認されたい方も、ぜひ一度ご受講ください。
また、対面リーディングに関心のある方がありましたらお伝え下さい。

日時　9月3日（水）　13時～17時
（全1回）

場所　情報文化センター本館４階会議室

対象　これから対面の活動をご希望の方。
または、興味のある方。

講師　当館職員ほか

定員　10人

受講料　無料

内容　視覚障害者の理解、対面のサービス内容とルール、利用者との対応の仕方などをロールプレイやＱ＆Ａでわかりやすく学びます。
（「読み方」など技術的な講習ではありません）

申込　8月27日（水）までにサービス部（電話06-6441-0039）対面担当（谷口、木田、福田）まで。

今月号の主な内容

基礎講習会のお知らせ			1
対面リーディングの難所物語	食欲をそそられた新刊図書の出現！	二村　晃	2
誌上勉強会	図表の読み方　５	木村　謹治	3
私のふるさと	ふるさとは・・・	後藤　恵里奈	7
寄り道・回り道	中之島グリーンマーケット	木村　謹治	8
情報発信	グループ紹介（いもうと金糸雀）		9
情報発信	初心にかえって	谷口　由紀	１２
お知らせ			１２

78.食欲をそそられた新刊図書の出現！

二村（ふたむら）　晃（あきら）

　一昨年の秋、父母から受け継いだ舌の８分の１を犠牲にして切除し、この世から葬った筈の舌癌が、どこにどう隠れていたのか、頚の淋巴節に転移してぬくぬくと育っていたというではありませんか！　癌細胞を完全にやっつけたと思っていたので、これぞまさしく青天の霹靂！　大ショックでした。

　ゴールデンウィークの終るのを待ちかねて、手術をした池田市民病院に再入院。癌との闘病生活を始めました。今度は抗癌剤の点滴注入による癌との生存闘争です。チューブに繋がれた不自由な生活ですが、ここでへこたれるわけにはいきません。そして、私のこの病床を慰めてくれる何よりの友が現われました。「Ｎ‐ＢＵＮ」の皆さんによる『群像』６月号、書評欄です。ふだん何気なく聞き流す書評なのに、強く食欲をそそられました。いつものように、固有名詞もしっかり読んで下さいました。ご紹介しましょう。
「権力にあらがう知的冒険！」評者マツナガミホ‥マツの木のマツ・ナガはエイキュウのエイ・ミホはウツクシイ・イネのホのホ・これで松永美穂がバッチリ！　次に著者です。イケザワナツキ‥イケはイケのコイのイケ。サワは、山合いの小さな流れのサワの旧字。ナツはハルナツのナツ。キはジュモクのきで、池澤夏樹。『アトミック・ボックス』。　毎日新聞社刊　1900円となっています。
帯には黒地に白抜きで、原発拡散プロジェクト３３の文字が躍っている。本書は核開発をテーマにしたフィクション。読んでいくうちに、こんなことが水面下で実際に行われたとしてもおかしくないなと、思えて来る。核を持とうとする権力の野望と、プロジェクトに巻き込まれた個人の葛藤を描いている。この小説では思いがけず原爆開発プロジェクトに携わってしまった父が娘にある物を託す。父が若い日に何をしていたか知らなかった娘は末期癌に冒された父の遺志を継ぐ形で、行動を起こすことになる。父が娘に委ねたのは、あまりにも大きな秘密だった。父の死後、公安との戦いが始まる。本書は、サスペンスの要素で一気に読ませる。ここで彼女を助けるのが反骨精神に溢れる老人たち。ユニークな人物がいろいろと登場する。何だか面白そうですね。

　　ここまで書評を聞いて、もう矢も楯もたまらなくなりました。どなたか、原本を音訳して頂けないでしょうか？　決して急ぎませんので、よろしくお願いします。
　本書が世に出た後、特定秘密保護法案が国会で可決され、集団的自衛権が議題に上がる世の中です。この小説には国家によって揉み消されそうな事実を巡って、公安と対決するジャーナリストが苦闘する場面もあり、国民の知る権利を巡る小説でもあるのです。
　いかがでしょうか？　音訳作品を世に送り出して頂けませんか！
　今回は狭い病院のベッドの上で仕入れたばかりの情報をお届けしました。
　それでは、皆さん！　ご機嫌よう！

（編集者注：「アトミック・ボックス」の音訳図書は、完成していました。貸し出しも可能です）

誌上勉強会

木村 謹治（きむら きんじ）

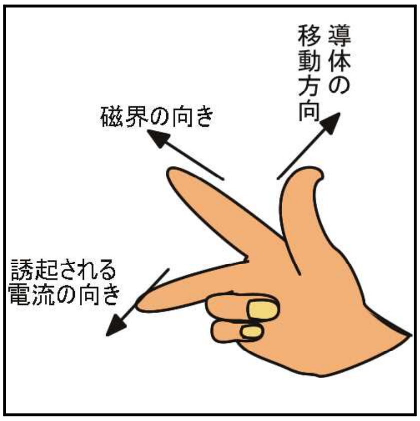
図表の読み方　５

－　対面リーディングの利点を活用して　－

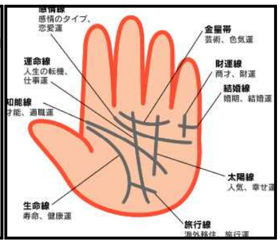
　デイジー図書は音声だけ（稀に点字資料が付属しているものもありますが）で表現しますが、対面リーディングは利用者が目の前におられるので、音声以外も利用して伝える事ができます。また、利用者の希望に添って必要部分だけ説明するなど柔軟に対応することも出来ます。
　これが、対面リーディングの最大の利点で有り、これを利用しない手はありません。

［例１］　身体を使って

フレミングの法則
　導線を磁場の中で動かすと、導線に電流が流れます。これが電磁誘導で、発電機の原理です。このとき、磁場と導線、電流の三つの間に、関係があります。これをわかりやすく説明したのが、イギリスの電気学者・フレミング（1849～1945）です。フレミングは大学で電磁誘導の講義をするとき、学生たちが電流の方向をよく間違えるので、指を使って覚える方法を考えました。これをフレミング右手の法則といいます。



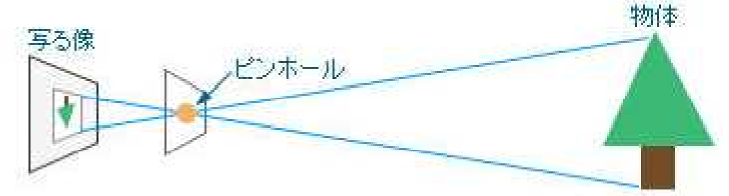
　憶えておられるでしょうか、学校で習いましたね。この図は、対面リーディングにとって教科書的な図と言えるでしょう。
　説明するには利用者にも手伝っていただき、この図と同じ手の形をしていただきます。この方法では<u>**利用者に触れることになりますので、予め了解を得ておいて下さい**</u>。そして『親指の方向が伝導体の移動方向、人差し指の方向が‥‥』と説明します。言葉だけで指のかたちを説明するより図と同じ形をして頂くことによって、より正確に伝わると思われます。



　この様な方法は手相など身体的なもの以外に、テレビやエアコンのリモコン、携帯電話のように利用者が簡単に運べる機器の取扱説明書も、機器を触りながら説明するなど、応用範囲が広いです。

［例２］　身近な道具を利用する

　ピンホールカメラは、針先のような小さい穴（ピンホール）を使って光を通し、一定距離の先にあるフィルムや印画紙などの感光材の上に像を映し出す仕組みのカメラです。
　物体に太陽光などの光が当たると、色々な方向に光が反射されます（散乱）。ここで一つの箱を用意し、その外側にピンホールを置くと、箱の外側から来た光はピンホールによって一つの方向の光だけが通され、それ以外の光は箱によって妨げられます。そして箱の内側に感光材を置くと、その一つの方向の光が感光材上に像を結びます。これがピンホールカメラによって写真が撮れる原理です。



（このとき、できあがる物体の像はちょうど180度反転した像になります）

　単純な図ですが、でも言葉で説明しようと思えば大変です。
　『ピンホールを挟んで右に物体、この絵では一本の木が立っています。左側には・・・』と読むことは読めますが果たして通じるでしょうか。

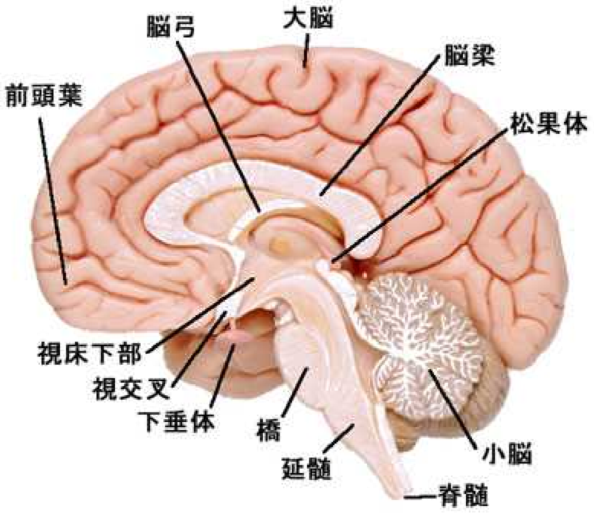
　一番簡単な検証方法は家族や友人の前で、図を見せないで読み上げて感想を聞くことです。上手く伝わりましたでしょうか。読み手は図を見ているので上手く読めた気がしますが、思ったほど伝わっていないことが多いです。
　この検証では、「ピンホールカメラの説明」とは言わないでください。「ピンホールカメラ」と聞けば「子どものころに習ったな。はは～ん」と図を思い浮かべる方が多いと思います。これでは実験失敗です。

　ところで、実際の対面ではどうされますか。身近にある道具を利用する方法が有ります。
　例えばボールペンを利用します。確か、机の中に割り箸が入っていた対面室がありました。割り箸の方が転がりにくくていいですね。また、ハサミを利用する方法もありますが、怪我をする恐れがあるので、避けた方がいいですね。

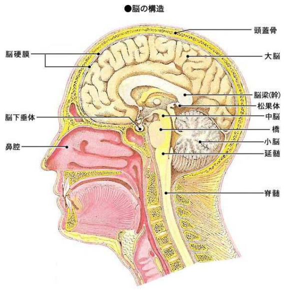
　上記の図と同じように２本のボールペンを斜めに置き、交差させるのです。輪ゴムで交差点を留めてもいいです。また、「写る像」の場所に付箋を置きました。これを利用者に触ってもらい、交差する場所が「ピンホール」、交差点の右側が「物体」、左側が「写る像」です。
　当然、ボールペンや割り箸だけでは、説明が不完全です。言葉を継ぎ足して説明します。例えば「像」が逆さまになっている事などです。
　目で見ると全体を把握することが出来ますが。手で触るのでは部分部分の把握の積み重ねとなります。それを補うための説明が必要となってきます。

　さて、この説明では２つの注意点があります。
　①重ねたボールペンや割り箸を利用者に触っていただく必要があります。利用者の手に触れることの了承を得て下さいね。
　②対面の基本は図書を忠実に読むことですが、図表や写真などでは多少の説明や解説が必要です。理解を助ける範囲で最小限の解説は許されるものと考えられます。

［例３］　拡大コピーを利用する



　人間の脳の構造です。この図も目で見れば何となく分かりますが。実際の対面ではどうしましょうか？
　特に視床下部・視交叉・下垂体など下部の位置関係を言葉で伝えるのは至難の業です。
　それでは、利用者の頭を指で押さえ説明しますか？
　それも１つの方法ですが、例えば下垂体はどの辺を押さえればいいのか迷いますね。耳の辺りか、それとも上？　下？
　そもそも、どちらが正面かから考えないとダメですね。この種の図は大抵左側が正面です。（例外もあります）
　右の図のような頭の外形も含めて書かれていると分かりやすいのですが。



　もう一つの方法が利用者の指をリードして、図をなぞってもらって説明する方法です。位置関係は両手の指を上手く利用する事により理解を助けます。例えば「視床下部」を左指先で押さえたままで、右指先で「視交叉」、「下垂体」‥‥と説明します。
　但し、大抵の図書は目で見ることを前提としているので、書かれている図は小さく、指の感覚だけで理解するのは難しいですね。そこで、拡大コピーをして大きくなった図を触っていただく方法です。但し、**この方法は費用が伴います。コピー代が１枚につき１０円発生します**。１回で所定の大きさになればいいのですが、大きくするまでに２、３回コピーを繰り返す必要が生じることもあります。利点は図が大きくなり、それぞれの箇所の位置関係や大きさの違いなどがよくわかると言うことです。

　本文の説明だけである程度、理解できるので図の説明は不要、あるいは、書かれている文字を読むだけで良いとおっしゃる方もあります。反対に詳しく知りたい時もあります。
　拡大コピーの方法は誰もが利用する方法ではありませんが、図が複雑で、利用者の希望があればという前提で、このような方法がある事をおぼえておいて頂ければ幸いです。

［例４］　立体コピーを利用する

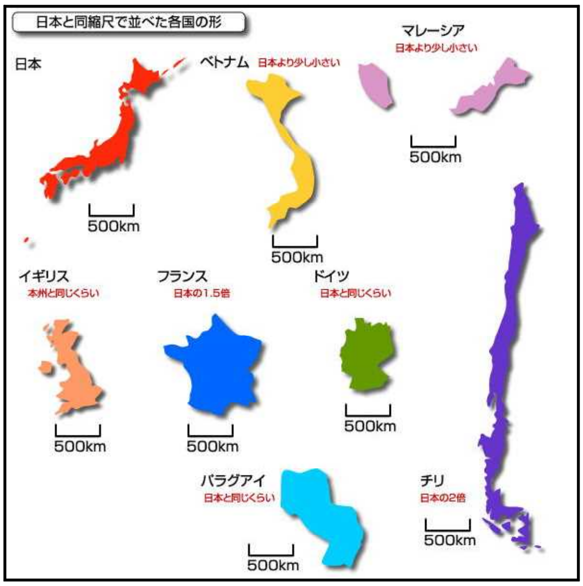
　最近はゆるキャラが人気を集めていますね。土産物のデザインやテレビなどでよく見かけますね。有名なキャラでもどんな形をしているのか知らない視覚障害者も多いのではないかと思います。
　説明は難しいですね。『千葉県船橋市の非公認ゆるキャラで、梨をモチーフにした妖精。「ヒャッハー」や「梨汁ブシャー」などのセリフと俊敏な動きが特徴で

す‥‥』と続ければ、図の説明ではなく知識の伝達になってしまいますね。これぐらいの脱線は許容される範囲ですが、図の説明となると難しいですね。

　拡大コピーして利用者の指を誘導して輪郭をなぞってもらう方法もあるのですが、実際には理解するのが難しいです。

　そこで、次の方法として立体コピーを利用する方法です。**この方法も費用（１枚１００円）が発生するのでお勧めするものではありません**。

　特殊用紙にコピーして熱処理で立体図を作成する方法です。すでに点字図書では利用されていて、ドラえもんはこんな姿をしていたのかとか、図鑑を興味津々と触っておられた事が印象的です。



　こんな楽しい漢字（習字）も触ってもらうことで理解が進みます。

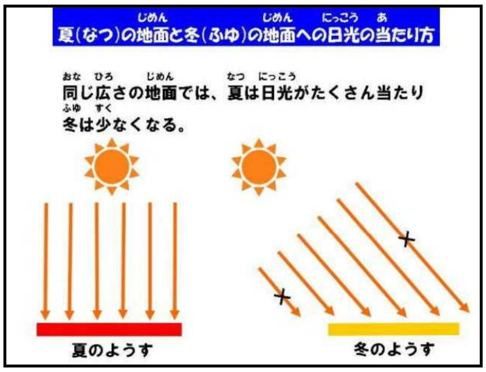
　左側の「国の形と大きさ」も触ることで面白みも倍増。

　但し、この方法が向いている図形と向かない図形があります。輪郭線で表現されたものや全体が浮き上がるものが向いています。

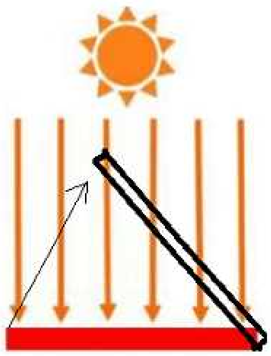
　また、出来上がるまでに多少時間（２０分ぐらい）がかかります。

　そのままでコピーすると書かれた文字や不要と思われる部分までも浮き上がるので加工が必要なものが多いです。**加工が加わると対面の領域を越えてしまいますので、プライベートサービスで申し込み頂くことになります。**

［例５］　前回の課題



⇒



　説明が難しいこともあって皆さまからの意見をいただくことが出来ませんでした。

　そこで考えついた方法は、本を机の上に伏せます。この状態は、真上から燦々と光が当たっている「夏のようす」です。

　次に右の図のように右端を押さえ左側を持ち上げます。角度がつくにつれ、真上から見た面積は小さくなります。つまり、同一面積当たりの光量の変化が見られます。（左の図を４５度左に回転させると「冬のようす」と同じになります）。この作業を通じながら、６本から４本に減った事を説明します。

　でも、少し無理がありますね。すぐに、このような説明が思い浮かぶことは稀です。編集委員の方からもわかりにくいとの意見が出ています。即応用することは難しいし、不出来ですが、言葉だけではなく、あらゆる方法を使って説明する例として書いてみました。

　皆さんの経験談などを聞かせていただければ助かります。

私のふるさと

職員紹介

ふるさとは…

録音製作部　**後藤（ごとう）　恵里奈（えりな）**

　生まれも育ちも大阪の私にとって、「ふるさとは？」と言われると、祖父母が住んでいた香川県と言います。香川県と言っても中心部ではなく、愛媛県に近い観音寺市というところです。小学生くらいまでは、毎年夏休みになると、祖父母の家に泊まりに行き、家の近くには有明浜があったので、海水浴場に行くのが楽しみでした。私の場合、海に行っても「泳ぐ」というより「浮いている」のが好きで、浮き輪に入って、ゆらゆらと浮いていました。沖に流されていることもありました。有明浜は、引き潮になるとかなり歩かないと海に入れないのですが、小さい魚がいたり、しじみ掘りをしたり・・と海に入るまでに、寄り道をいっぱいしていました。また、家の近くには神社があり、祖父と散歩に行ったり、絵を描いたり、涼んだり・・・と、よく遊び、しっかり日焼けしました。

　観音寺市には、海水浴場のほかに「寛永通宝」という有明浜の砂で描かれた大きな砂絵があります。琴引公園の中にあり、展望台から眺めると「寛永通宝」の銭形の奥に海が広がり、とてもきれいなところです。子供の頃、あの砂はどうやって運んだんだろう？ということが、すごく気になったことを思い出しました。ネットで調べてみると、東西122m南北90m周囲345mあるそうで、銭形を見れば健康で長生きし、しかもお金に不自由しないと伝えられ、多くの人がこの地を訪れていると書かれていました。

　そして、香川県はよくご存じと思いますが、うどんが有名です。帰省すると、うどんを食べに行くのですが、私はいつも釜揚げうどんでした。当時は、夏でも釜揚げうどんを食べている人が多く、クーラーの効いたお店で、熱い釜揚げうどんを食べていました。今では、食べ方もいろいろ、お店もたくさん紹介されています。サービスエリアでも食べることができるし、お土産の種類も豊富です。うどん屋さんを何軒もまわって、うどんを食べ歩く人も多くいらっしゃいます。

　四国に行く機会がありましたら、寛永通宝を見て、うどんを食べてみてくださいね。

寄り道・回り道

レポーター：木村　謹治

中之島グリーンマーケット　オープンテラス

【所在地】　大阪市役所の南側プロムナード（歩行者専用道路）
【電話番号】　中之島オープンテラス：070-1259-9167
【行き方】　地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅
【開催期間】　6月6日～9月5日

　<u>中之島グリーンマーケット</u>では採れたてのトマト、八尾の名産品・紅たで、京の伝統野菜万願寺とうがらし、大阪を代表する泉州水茄子など、大阪府域をはじめ、近畿各地から総数60店舗が参加。大阪の地場野菜に加え、京野菜、各地の名産品、果物の加工品などが「天下の台所」大阪に集まります。

　また、「農を学ぶマルシェ」をコンセプトにしており、食材にこだわる水辺の飲食店のシェフ向けの「シェフツアー」、お子さまから大人までが楽しめる食に関連するワークショップなど多彩な催し物も開催されます。

　天然の染料「べんがら」を使ってオリジナルのTシャツや手拭いを作ったり、料理教室、スイーツ試食会、食べられる素材だけを使って、安心・安全な虫よけスプレー作りなど参加すれば楽しさが倍増します。

　歩き疲れたら、市役所南側の公園（女神像横）に特設された<u>オープンテラス</u>(オープンレストラン)はいかがでしょうか！

　中之島グリーンマーケットの野菜を中心とした本格的な料理や大阪産のワイン、冷えたビールなどもお楽しめます。

　コンロ無料貸し出しの、BBQ セット（予約制）も用意！ BBQ エリアにて、家族、友人、職場の仲間と、大阪の水辺で気持ちの良い風を受けながら楽しいひと時を過ごせる空間です。

　11時30分から23時までオープンしているので対面の帰りの寄ることもできます。

　気になる値段は500円から1500円。BBQ は2800円となっています。

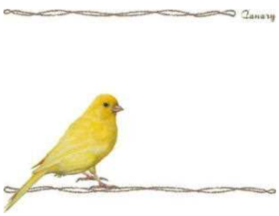
　さらに、ハンドメイドの1点ものを販売する<u>手づくり市</u>、さまざまな本を買ったり借りたりできる<u>ブックフェア</u>。オリジナルの手作り品を作る<u>ワークショップ</u>もあります。

　カフェも併設されているので一日中、楽しむことが出来ます。

　（場所や時間の詳細はインターネットでご確認ください）

　夏の1日を楽しみませんか！

情報発信



グループ紹介

いもうと金糸雀（カナリア）（録音製作係）

私達は、2011 年度音声訳基礎講習会を修了した 11 人のグループです。先輩の「金糸雀」チームに合流し「いもうと 金糸雀」に。

その名に寄せて歩み始めた私達の囀（さえず）りを綴ります。

いい録音図書作りは果てしない道。
素晴らしい本や人との出会いは私の心の宝物♪（澤田和代）

「**も**う一度聴きたい」作品を作りたい、でもそれは、気負わない自然体の読みから生まれると思います。（首藤和恵）

うしろを向かず、一歩ずつメンバーと共に向上する。（新庄和代）

とてつもなく大きな言葉の海へ、小さな船に勇気の櫂で漕ぎ出しました。（鈴木恵子）

カナリアは常にさえずる鳥です。私達もさえずりを止めることなく、一冊一冊の本に対する理解を深めて活動していきたいと思います。（辻野玲子）

ナん人もの人が関わって、一冊の本を読みあげていく。仲間の一人として協力出来たらうれしいです。（寺下千秋）

リ用者に本の内容が確実に伝わる読み。それが私たちの目指すところです。（板東由美子）

「**ア**～い～う～」ひとりで声を出していても、大勢の方が同じように・・・と思うと心強いです。頑張ります！（平田佳子）

で会いがあり、集いがあり、反省しつつ、そして大きな目標に向けて羽ばたきましょう！（吉川順子）

すんだ声に憧れます。るるりるり♪　ラ行も難関・・・。先輩の指導は象牙の船。仲間の励まし合いは銀の櫂。（吉田典子）

親鳥から離れて歩き始めた妹カナリア達、姉さんカナリアの後を追いかけます。置いてけぼりにしないでね！先輩たちを見習って一日も早く情文の輝く☆☆☆になりま～す。

（「ろくおん通信」で紹介された記事をそのまま掲載しました）

谷口（たにぐち） 由紀（ゆき）

対面リーディングボランティアとして知っておいていただきたいこと　～初心にかえって～

新しいボランティア、新しい職員が加わったのを機会に、あらためてご紹介します。
本号1ページでご案内している「基礎講習会」でも触れる内容です。
活動の基礎となる内容なので、すでにご存知の方もご一読ください。

①多くの利用者は限られた時間内に必要な情報を得ようとしており、ボランティアはその目の代わりをします。内容には、読むだけでなく代筆などもあります。

②最初に会ったとき、必ずボランティアの側から名前を名乗ってください。
また、席から離れる時や帰ってきた時は、必ず声かけをお願いいたします。

③読むにあたって、相手のご希望を尋ねるようにしてください。
読む速度は、聞くだけの人、録音する人、点字タイプライターでメモをとる人さまざまです。また、同じかたでも資料の内容により異なってきます。

④資料を前もって読んでおくことができない為全て初見です。（日本語、特に漢字の知識が必要です。日頃から漢字に興味を持ち、正確に覚えるよう心がけをお願いいたします）

⑤文章が早く明瞭に読めるように、また長時間（１コマ２時間）声を出すため基本的な発声法・呼吸法が求められます。（アクセントについては、必ずしも正確性が求められるとは限りません）

⑥未知の分野を担当する場合がありますが、積極的に興味を持つようにしてください。わからないときは辞書をひいていただくこともありますので、引き方にも慣れておいてください。（東洋医学・法律・理数関係・コンピュータ）

⑦コンピュータ・医学書関係など、正確を要する資料の場合は、英語や数字の読み方に特に注意をしていただきますよう、お願いいたします。

⑧活動は、利用者からの申込みがあって始まります。そのため、１ヶ月の活動回数や曜日、時間が不定期になります。

⑨対面室は日によって利用が混み合うことがあります。時間内に読み終わらないからといって、自己判断で時間の延長はしないようにお願いいたします。利用者からそのような依頼があった場合も同様です。

⑩中途失明者は漢字の知識がありますが、漢字の知識のない方もいらっしゃるので、説明の際は注意してください。

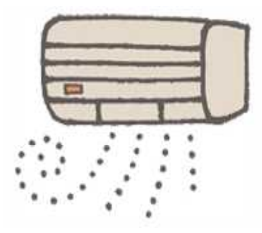
☆活動上知った利用者のプライバシーや、読んだ資料の内容については絶対に口外しないでください。

☆たまたま接した一人の視覚障害者の印象を、すべての視覚障害者全体にあてはめないで下さい。視覚障害者も人間ですから、いろいろな考えを持ったかたがいらっしゃいます。

☆ご不明な点があれば、職員にご相談ください。

☆おまけ☆
これは「知っておいていただきたいこと」ではないのですが、「知っていると少しお得♪」という情報をお寄せいただきました。

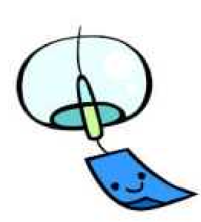
ちょこっとガイド



大阪の夏は暑いですね。湿気がなければ過ごしやすいのですが‥‥。
少し歩くだけでも汗がねっとりと出てきます。

熱中症の対策は、こまめに水分を取ることです。喉が渇いてからでは遅いです。意識的に取りましょう。もう一つは、涼しい場所を選ぶことです。そこで、梅田からの歩き方を紹介しましょう。
JR 大阪駅中央出口から地下道を南へ。両サイドに大丸の出入り口が見えます。店舗寄りの点字ブロック辺りを歩きます。ここが一番涼しいです。見上げれば冷風の吹き出し口がずらりと並んでます。そして、右折。以前は各県の名品店が並んでいましたが、ここでは中央部分を歩きましょう。天井を見れば一目瞭然。西梅田を経て堂島地下街へ。ここも中央部、丁度、点字ブロックの部分がベスト。両サイドから冷風が。無料で高原の爽やかさを味わうことができます。

いよいよ地上です。頭の上にはギラギラ照りつける太陽が。日光浴はビタミンDを作るのに必要です。少しは陽の光を浴びるのも健康のためと割り切って‥‥。
あと一歩なのに肥後橋の交差点に近づいた時は９割方、赤信号。ここでの注意点は信号の前まで近づかないことです。５メートルほど手前、阪神高速の下、丁度影の部分でゆったりと待ちます。右手からは涼しい川風が。心地よい風に救われて、いよいよ情文へ。(K)



おしらせ

□□　職員からのお願いとお知らせ　□□

□　８月１０日（日）～１８日（月）は対面サービスはお休みです。

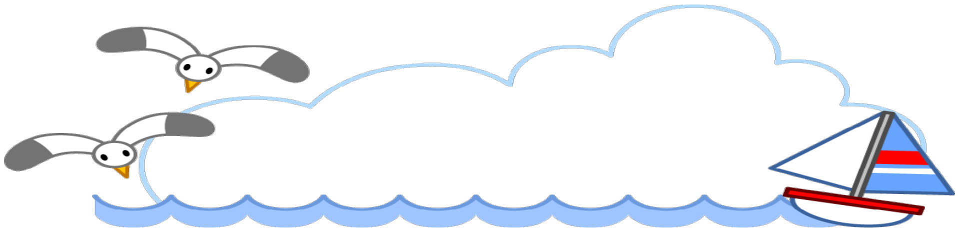
上記休館日以外は通常通り開館しておりますが、８月はいろいろな行事や旅行、ご家族の帰省などでボランティア活動ができないというご連絡を多く頂いています。
ほかにもさまざまなご事情で活動をお休み中のかたも含めると、登録１５３名中３７名のかたが活動休止中です（７月１５日時点）。

この時期、いつも以上に職員からの依頼の連絡がいくと思いますので、もしご都合が合う日がありましたら月に２回、３回と活動して頂けると助かります。
ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

□　お忘れ物はありませんか？

対面室は毎日多くのかたにご利用いただいていますが、時折「忘れ物」があります。
最近は部屋使用が混み合っているため「次の方が待っているので・・・」と急いで出てくださいます。
でも、退室されるときにちょっと後ろを振り返って利用者さんの席、ボランティアさんの席に忘れ物がないかご確認して頂くとともに、声かけをお願いいたします。

最近のお忘れ物には、このようなものがありました。
・タオルハンカチ
・水筒（青）
・扇子
・扇子ケース
・OA タップ
　などなど・・・
お心当たりのかたは、職員までご連絡ください。



いよいよ夏本番。「今年の夏は暑さが違う」、と毎年言っているような…。やはり温暖化の影響でしょうか。暑さに加え冷房による冷えなど、なにかと体調を崩しがちな時期です。皆様どうぞご自愛ください。（F）

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6441-0015（代表）
06-6441-0039（サービス部）